



2026 年 8 月 31 日

No. V013-26014

第三者検証報告書

アスザック株式会社
ファインセラミックス事業部
事業部長 久保 勲 様

日本化学キューエイ株式会社
東京都港区西新橋 1-14-2

代表取締役社長 勝 俣 宏 行

■検証目的及び会社の責任

日本化学キューエイ株式会社（以下、JCQA）は、アスザック株式会社ファインセラミックス事業部（以下、アスザック）が算定・集計した温室効果ガス(GHG)排出量の報告（以下、算定書）について、第三者として独立した立場から検証を実施した。

本検証の目的及び JCQA の責任は、算定された GHG 排出量が、算定基準に基づき適正に集計・算定・報告が行われているかを独立の立場から確認し、第三者としての見解を述べることである。

なお GHG 排出量を以下の算定基準に従って適正に集計・算定・報告する義務は、アスザックにある。

■JCQA の独立性

JCQA 及び JCQA 検証員は、アスザックから独立しており、利害関係はない。

■検証対象及び範囲

算定書（2026 年 8 月 4 日付）に纏められ検証対象となる組織、期間、及び GHG は以下の通り。

- ① 対象組織 : アスザック株式会社 ファインセラミックス事業部 高山工場
- ② 対象期間 : 2025 年度（2025 年 4 月～2026 年 3 月）
- ③ 対象 GHG : 高山工場の GHG 排出量 Scope 1、Scope 2（以下、GHG 排出量）
但し、非エネルギー起源 CO₂ 及びその他 6 ガスは含まず。

■算定基準及び検証基準

【算定基準】

- ① GHG プロトコル 事業者排出量算定報告基準（改訂版）
- ② 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（Ver6.1）（令和 8 年 3 月）
- ③ アスザックが策定した算定方法及び基準

【検証基準】

- ① JIS Q 14064-3 : 2023

■検証方法

JCQA は検証基準に則り、限定的保証水準にて、上記対象組織に示す事業所からの GHG 排出量について以下の手続きを実施した。なお限定的保証水準で行われる検証活動は、その性質、時期や範囲が合理的保証水準の検証ほど広くはない。その結果、限定的保証業務で得られる保証水準は、合理的保証業務の実施で得られる保証水準ほどには高くない。

- データ収集体制、算定体制、及び品質管理・品質保証の仕組みについては、アスザックの集計担当者へのヒアリング及び関係書類の閲覧で確認した。
- 現地往査を実施し、組織境界、排出源、貯蔵庫、モニタリングポイントなどを確認した。
- 算定に使用されたデータは全て、購買伝票等、第三者が発行した書類（以下、証憑類）から得ていることを確認した。
- 算定データについては、排出係数等の確認、算定に使用されたデータと証憑類との突合、及び再計算を実施した。

■検証結果

アスザックが提出した算定書を検証した結果、そこに記載されている GHG 排出量情報に、上記の算定基準に従って正確に集計・算定・報告がされていないと疑義を生じさせる事項は、全ての重要な点において見出されなかった。

検証結果の詳細

【組織境界設定の基準】

☒ 支配力基準

☐ 出資比率基準

☐ その他の基準

【検証した GHG 排出量】

■対象とした GHG とその排出量

- ・ SCOPE 1 : 630 ton
- ・ SCOPE 2 : 3,474 ton
- ・ 排出量合計 : 4,104 ton

【検証意見】

☒ 無限定適正意見、

☐ 限定付適正意見、

☐ 不適正意見、

☐ 意見不表明

－ 以 上 －